

科目名	保育の心理学		
担当講師	諸星 聡美	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	講義 30 時間・2 単位	開 講 学 年	1 学年 前期
評価基準	レポート課題により評価する		
目 標	① 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。 ② 子どもの発達にかかわる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。 ③ 子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。		
回	講 義 内 容	方 法	
1	保育者が子どもの発達を学ぶ意義を理解する (第 1 章)	講 義	
2	子どもの発達に影響を与える環境について学ぶ (第 2 章)	講 義	
3	子ども観、保育観の歴史的な展開と、発達理論の子どもに対する視点を学ぶ (第 3 章)	講 義	
4	社会情動的発達について学ぶ (第 4 章)	講 義	
5	身体機能や運動機能 (全身運動と手指の操作) の発達について学ぶ (第 5 章)	講 義	
6	ピアジェの発達理論から認知の発達について学ぶ (第 6 章)	講 義	
7	言語の発達について学ぶ (第 7 章)	講 義	
8	アセスメントの種類や意義、発達障害等支援の必要な子どもの特性を知る (第 8 章)	講 義	
9	誕生から 2 歳ごろまでの発達の特徴と発達課題について学ぶ (第 9 章)	講 義	
10	3 歳～ 5 歳の発達の特徴と発達課題について学ぶ (第 10 章)	講 義	
11	学童期、青年期の特徴を学ぶ (第 11 章)	講 義	
12	成人期の心理とライフイベントに伴う心理的葛藤について学ぶ。 老年期の加齢に伴う現象と成熟する側面について学ぶ。(第 12 章)	講 義	
13	学びに関する理論について学ぶ (第 13 章)	講 義	
14	「遊ぶこと」の意味や遊びの機能について学ぶ (第 14 章)	講 義	
15	主体的に遊ぶということについて保育実践から学ぶ (第 15 章)	講 義	